



ほくとライブラリー 

新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 216

R1. 12月号

大人のためのおはなし会

冬のスペシャルおはなし会 「絵本・小道具を使ったおはなし」

日時：令和元年12月10日(火) 13:30~14:15

場所：研修室

出演：おはなしのしずく

毎月、子ども向けに開かれているおはなし会ですが、今回は大人向けのおはなし会も開催します！ゆっくりとおはなしの世界を楽しんでみませんか。

申込みは不要です。当日は直接会場へお越しください。



冬のスペシャルおはなし会

12月7日(土)

14:00~14:40

みんなでいっしょにおはなし会

(研修室・幼児~小学生)

12月10日(火)

10:30~11:00

ふれあい遊び

(研修室・赤ちゃん~)

年末年始は、令和元年12月29日(日)から令和2年1月4日(土)まで休館となります。



新刊案内

デザイン力を加速する！フリーフォント COLLECTION

ランディング／著

技術評論社 請求記号 007 (文字)

同じことを書いていても、文字のデザインが異なるだけで、ちらしやポスターの印象はがらりと変わり、内容とぴたりと合えば見る人に訴える力も増大するでしょう。自分のパソコンには入っていない300ものフリーのフォントが収録されています。どれも個性があふれ、見ているだけでも楽しくなりますよ。



アナログレコードの魅力を引き出す機材選びと再生術

MJ無線と実験編集部／編

誠文堂新光社 請求記号 547 (再生機器)

新屋の町屋、渡邊幸四郎邸には素晴らしい音響装置で音楽を聴くことができる「新屋レコーズ」があり、身近になりつつあるアナログレコード。自宅でも楽しむ人のために、機材の基本から設置、音質向上、メンテナンス、カスタマイズなどアナログの魅力を追った一冊です。



図書館100連発

岡本 真・ふじた まさえ／著

青弓社 請求記号 010 (図書館)

日本全国の図書館がおこなっている、「来館者のためのちょっとしたアイデア」がたっぷり100個も紹介されています。もしかしたら、おうちで役に立つもの、職場で実践できるものがあるかもしれません。巻末には、識者による「図書館システム」についての座談会も収録。



ひとりで作って、みんなで食べよ！はじめてのごはん

坂下 千恵／著

日東書院 請求記号 59 (料理)

おかずをご飯にのせるだけの“のっけごはん”から、ハンバーグやグラタンなどの本格メニューまで、40以上のレシピを紹介。できそうなものからチャレンジしてみよう！後片付けのアドバイスも載っています。はじめての料理をサポートしてくれる一冊です。



図書館員（大石 美和子）のおすすめ本

書名	お家賃ですけど
著者名	能町 みね子／著
出版社	東京書籍
所蔵	明德館 請求記号 914 ノ (エッセイ)



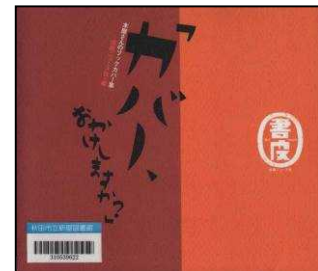
隙間風ふく昭和のアパート「加寿子荘」での生活を綴った、漫画『大家さんと僕』の随筆版のような…なんて一言では表せない、味わい深い趣のエッセイです。

「～します。」「～しました。」と最初は淡々と事実が語られ、読む波に乗れずにいましたが、能町さん特有の、ですます調、である調おりませ、ふと「そんなかんじ。」と足止めに

あう（それも心地よく立ち止る）ような文章に、ああ、またこの人の手中に落ちたわ、と思うのです。可愛らしい大家さんとのやり取りや、高層マンション建ち並ぶ都会とは違うあつたかい東京の暮らしの中に、不安や毒や卑屈な気持ちも混ざって、エッセイ全体が寂しく哀しげな佇まいをもって、ただ優しく面白いだけでなく、じわっと心に沁みてきます。

図書館員（鎌田 友理）のおすすめ本

書名	「カバー、おかけしますか？」
著者名	出版ニュース社／編
出版社	出版ニュース社
所蔵	新屋・明德・イソップ 請求記号 024 (図書)



本屋さんで本を買うとき、「カバー、おかけしますか？」とたずねられたら、みなさんはどうしていますか？

そんなおなじみのひとことが題名になっているこちらの本では、本と本屋さんとブックカバーをこよなく愛する「書皮友好協会」の協力により、日本各地の本屋さんのブックカバーがこれでもか！と紹介されています。

「ブックカバーのデザインなんて気にしたこともなかった」「本はネットで買うし、ブックカバーを目にする機会がない」という方も多いかもしれませんが、じっくり見てみると、それぞれの本屋さんの個性がにじみ出ており、なかなか奥が深い世界なのです。

ちなみに、秋田市の古い本屋さんのブックカバーも1点紹介されています。「なんだか見覚えある！」という人もいるかも？

記事になったお酒の話題あれこれ・・・東北清酒鑑評会

仙台国税局は11月6日、2019年東北清酒鑑評会の審査結果を発表。評価委員特別賞に齋彌酒造と刈穂酒造。県内からは昨年より数多くの蔵元が優等賞を受賞。蔵元の高い技術と適正な貯蔵管理が好成績になったという。同じ紙面に、県経済の活性化につながるアイデアを競う「あきたビジネスプランコンテスト」で、若者の酒蔵の立ち上げを提案した岡住さんがグランプリに輝くとある。昨年当館で酒に関して講師をしていただいた岡住さん。風土に合った地のもので醸した日本酒。若者の起業意識を高めもしたが酒資料収集する当館ではさらに人を繋げたいものだ。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】
秋田魁新聞
2019年11月7日

平成ってどんな時代？ ……平成30年…

平成30年（2018年）は、大変な寒波、大雪とともにスタートしました。東京では約4年ぶりに大雪警報が出され、新潟では積雪のためJR信越線が立ち往生。約430人の乗客が車内に取り残され、一夜を明かしました。このような厳しい寒波に見舞われたかと思えば、7月になると今度は記録的な猛暑となり、埼玉では41.1℃を観測。全国4地点で40℃を越え、気象庁は「災害級の暑さ」として注意を呼びかけました。残暑の続く9月には、台風21号、24号により、各地で冠水や強風などの被害が及びました。また、6月の大阪北部地震に続き、9月は北海道胆振東部地震も発生し、甚大な被害をもたらしました。この年の世相を表す漢字として「災」が選ばれるほど、自然の脅威を思い知らされた1年でした。

平成30年は災害を中心に振り返りましたが、他にも様々な出来事がありました。史上初の米朝首脳会議、冬季五輪、大谷翔平選手のメジャーリーグデビュー。秋田では、金足農業高校の甲子園での活躍、ナマハゲが「無形文化遺産」に登録されるなどなど。平成30年、みなさんは何が一番印象に残っているのでしょうか？

『朝日ジュニア学習年鑑2019』『週刊朝日増刊 金足農 旋風の記憶』

図書館員のひとりごと

知人から猫を譲り受け、早いもので3年になりました。わずか900グラムだった愛らしい子猫の面影はとうに消え、女王様の風格で我が家の頂点に君臨しています。そんな彼女は、家の中で生まれたため、厳しい外の世界を知りません。この頃は、ペット用電気マットの上で、放っておいたら永遠に動かないのでは…と思うほど熟睡しています。快適すぎるのかトイレにも行かず寝ているので、時々起こして連れて行くこともあるほど。いくら純イエネコとはいえ、それでいいのか？と心配になります。飼い主ともども、体を動かして健康でありたい冬です。
(佐藤)

今年は読書の秋でした。ある晴れた休日、千秋公園を歩いて明徳館まで歩いていくことにしました。青い空と赤や黄色に染まりかけている木の葉に秋を感じ、人々の話し声を聞きながらのんびり歩いてとても清々しい気持ちでした。家でゆっくり読書をしようと思い、上限いっぱいの本を借りました。帰り道、遊びにくる母のためにケーキを2つ買いました。家路についてさっそく読書タイム。すると、母もケーキを3つ買ってきたのです。「さすが親子」なんて話しながら、ケーキタイムに突入。やっぱり食欲の秋だったのかな。結局、その日の読書は思ったより進まないのでした。
(金谷)